

決定！ 平成21年度「魅力ある高等学校づくり大賞」

－より魅力ある高等学校とするための取組の表彰について－



平成22年3月17日（水）
千葉県教育庁企画管理部県立学校改革推進課
電話 043-223-4023

県教育委員会では、魅力ある高等学校づくりにおいて、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる県立高校に対し、「魅力ある高等学校づくり大賞」を設け表彰しています。

この度、今年度の表彰校と表彰式の日程が決定しましたので、お知らせします。

- 1 表彰式日時等 平成22年3月19日（金）午前10時30分から正午まで
（表彰校発表，表彰状授与，写真撮影，表彰校の取組概要報告，意見交換）
- 2 会 場 教育庁企画管理部会議室（県庁中庁舎9階）
- 3 表彰校一覧

★魅力ある高等学校づくり大賞 教育長賞★

（チャレンジ支援部門及び特別部門に該当する学校から1校を選定）

大 網 高 校	「地域の資源を活かした学びの推進」 －地域と学び，地域と育つ－
---------	------------------------------------

<評価のポイント>

- ・小・中・特別支援学校との連携など，学科の特性を生かした充実した取組。
- ・生徒が生産・加工した食品を自ら販売する大網笑店など，地域を巻き込んだ取組。

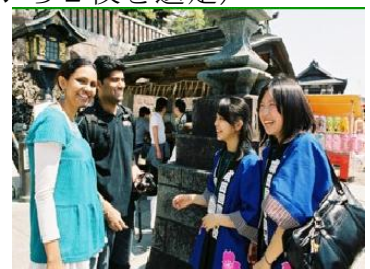


○魅力ある高等学校づくりチャレンジ支援部門 優秀賞

（魅力ある高等学校づくりチャレンジ支援実施校40校から2校を選定）

成 田 国 際 高 校	実践的なコミュニケーション能力を 発揮させる地域との連携
-------------	---------------------------------

- ・ボランティア通訳ガイドなど，国際高校の特色と地域性を生かした生徒主体の取組であり，地域への貢献度も高い。



君 津 商 業 高 校	「地域の教育力を活用した学力向上 事業」
-------------	-------------------------

- ・地域企業や関係者と連携した事業が充実。
- ・勤労観，職業観を醸成させ，生徒が将来に希望を抱ける取組。



○魅力ある高等学校づくり特別部門 優秀賞

(魅力ある高等学校づくり取組実践校12校(エントリー方式)から2校を選定)

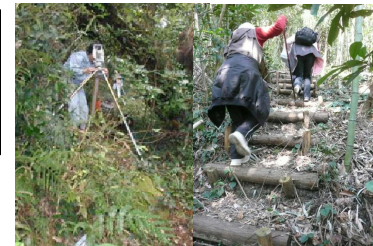
<p>松戸矢切高校</p>	<p>福祉のスペシャリストを目指して！！ がんばる松戸矢切高校・福祉教養科の生徒たち</p>
----------------------	--

- ・福祉教養科の特性を生かしたボランティア活動など、自主的活動の実践。
- ・小・中・特別支援学校との連携や地域との交流活動などを積極的に展開。



<p>安房拓心高校</p>	<p>測量技術を活かした和田ハイキングコースづくりに取り組んで 一地域との協働と共創を目指して一</p>
----------------------	--

- ・地域との協働を通して、土木部生徒の専門性を生かした街おこしにつながる取組。
- ・活動を通して、郷土を知り、郷土を愛する心を育成。



○「一校1キラッ！」マップ部門 優秀賞

(全県立高校の「一校1キラッ！」マップ学校概要から5校を選定)

<p>千葉女子高校</p>	<p>乙女の力 第一志望の実現</p>
----------------------	---------------------

- ・女子校らしい優しい色使いと、特色が一目で分かる構成が特徴的である。



<p>船橋法典高校</p>	<p>現役進路決定率90%の実現</p>
----------------------	----------------------

- ・学校の躍進している姿が、矢印を使ってうまく表現されている。



<p>沼南高校</p>	<p>創立30周年を終え、さらに飛躍・発展</p>
--------------------	---------------------------

- ・魅力ある取組がうまくまとめられ、更なる発展が期待できる内容となっている。



<p>東金商業高校</p>	<p>人間力醸成事業 先輩がキチンとしていてカッコいい！</p>
----------------------	----------------------------------

- ・学校の特色が端的にまとめられ、キャッチコピー「先輩がキチンとしていてカッコいい」も効果的である。



<p>天羽高校</p>	<p>やればできる！ 我らACTIVE天高生！</p>
--------------------	-----------------------------

- ・生徒のデザインによる「アッ君」を効果的に配置し、中学生にとって親しみやすい表現、内容となっている。

